

天孫降臨の登場人物一覧

日本のはじまりの神話を、人物から読み解く



▶ 主役：天から降りた神

ニギノミコト（瓊瓊杵尊） 天界

天孫降臨の主役・霧島神宮の御祭神

天照大御神の孫。天界から高千穂峰に降り立ち、地上を治めることを命じられた。三種の神器を授かり、日本の統治の礎を築く。

→ 霧島神宮に祀られる主祭神。天皇家の祖先神

▶ 天界の最高神

アマテラス（天照大御神） 天界

太陽神・天界の支配者

ニギの祖母神。地上を治めさせるため孫を派遣した。三種の神器を授けた張本人。

タカミムスビ（高皇産霊神） 天界

創造神・天界の主要神

天孫降臨を主導した神の一柱。アマテラスと並ぶ天界の最高神。

▶ 五伴緒神（いつとものお）：供をした5柱の神

アメノコヤネ 祭祀

中臣氏の祖神

祭祀・祈禱を司る神。現代の神社における祝詞のルーツ。

フトダマ 祭祀

忌部氏の祖神

神事の道具・祭具を司る。現代の神社で使われる道具の起源。

アメノウズメ 芸能

芸能・縁結びの祖神

天岩戸の前で踊った神。猿田彦との縁から縁結びの神としても知られる。

イシコリドメ 工芸

鏡作りの祖神

三種の神器のひとつ、八咫鏡を作った神。

タマノオヤ 工芸

玉作りの祖神

八咫瓊勾玉を作った神。勾玉など装飾品・工芸の起源。

▶ 道案内をした神

サルタヒコ（猿田彦大神）

地上

道の神・先導の神

天孫一行が地上に降りる際、先頭に立って道案内をした地上の神。交通・旅行・方位の神として広く信仰される。

→ アメノウズメが仲介し、ニニギ一行を高千穂峰へ案内した

▶ 天孫降臨の流れ

アマテラスが命を下す

→

ニニギが天界を出発

→

サルタヒコが道案内

→

高千穂峰に降り立つ

三種の神器を携えて統治開始

→

神武天皇へ系譜が続く

→

現在の天皇家へ